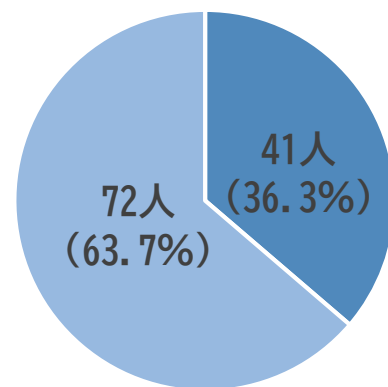


むし歯の治療をお願いします

1学期の間に、歯科健診でむし歯と診断された113人のうち、41人が治療を受けました。現在、治療率は約36.3%です。受診のご協力ありがとうございます。むし歯は多くの方が経験する身近な病気です。むし歯なんてよくあることから・・・とつい放置していませんか？実はむし歯は悪化すると歯や口の中だけの問題ではなく、命に関わることもある恐ろしい病気なのです。学校では子供たちの健康を守るために、年に一度歯科健診を行い、むし歯の有無などを確認しています。手紙を受け取った人は、夏休み中に歯科で治療を受けてください。

裏面には「はみがきカレンダー」がついています。朝・昼・夜の1日3回、歯をみがいたら色をぬり、カレンダーを完成させてください。

むし歯の治療率



■ 治療済み ■ 未治療

激しい痛みが出る

むし歯は初期の段階では痛みが出づらいです。しかし、むし歯が進行していくと、冷たいものや甘いものを食べたときにしみるようになります。さらに悪化すると、何もしてなくても激しい痛みが出る場合もあります。

歯の根に膿がたまる

むし歯が進行すると、歯の根の部分に膿（壊れた白血球や、死んだ細菌などを含んだ液体）がたまります。あごが腫れたり、鼻に膿が入ると副鼻腔炎になったりします。

むし歯がひどくなると…

歯を失う

むし歯が進行している場合、歯を抜く以外の治療法がありません。大人の歯を失った場合二度と生えてくることはありません。治療期間も長く、高額になります。

他の病気の原因になることも

むし歯の原因菌が血液に入った場合、脳梗塞や心筋梗塞などの命に関わる病気になることがあります。

歯科健診でむし歯があると診断された児童には「歯・口腔の健康診断結果のお知らせ」を再配布しました。この通知は治療の際に歯科で記入してもらい、受診後は学校に提出をお願いします。